

新築や改修に係る整備費の一部を**補助**しています！

東京こどもすくすく住宅

戸建住宅編

東京都は、転落防止など子供の安全が確保され、快適な子育てが可能となる間取りや設備など、安全・安心な子育てのための工夫が凝らされた住宅を「こどもすくすく住宅」として認定しています。

区分	新築型		改修型		
	賃貸	分譲	賃貸	分譲	
基本補助金の額	補助対象事業費A こどもすくすく住宅及び子育て交流促進施設の新築に係る費用		こどもすくすく住宅の改修及び子育て交流促進施設の整備に係る費用		
補助率	Aの1/5	Aの1/20	Aの2/3	Aの1/3	
補助限度額	アドバンスモデル	200万円/戸	50万円/戸	260万円/戸	100万円/戸
	セレクトモデル	100万円/戸	25万円/戸	130万円/戸	50万円/戸
	セーフティモデル	50万円/戸	12.5万円/戸	65万円/戸	25万円/戸
	子育て交流促進施設	1申請ごと500万円*		1申請ごと500万円*	
耐震改修工事に係る加算	—		耐震改修工事費の2/3 (限度額:200万円/戸)		

※子育て交流促進施設の新築又は整備に要する工事費用を限度とする。
※補助を受ける場合は、認定を10年以上継続していただく必要があります。

詳細はこちら



こどもすくすく住宅のイメージ



子供の転落防止対策



防犯灯設置による不審者の侵入防止対策

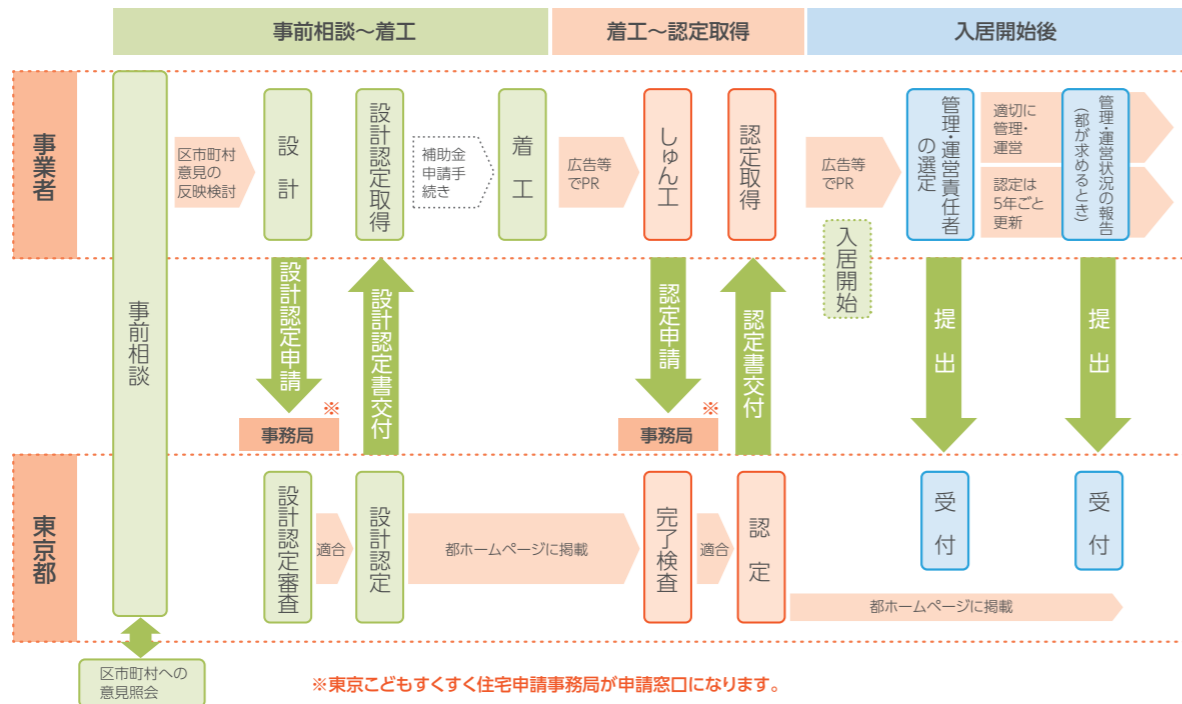


子育て世帯のコミュニティ形成



自然との共生や愛着の形成に資するシンボルツリーの植樹

認定手続きの流れ



手続きを始める方は事前相談フォームをご利用ください



認定を受けるとこんなメリットがあります！

メリット 1

整備費の一部に補助金を受けられます

新築分譲の場合
最大50万円/戸

メリット 2

認定マークにより物件をPRできます



メリット 3

補助金を受けた住宅は【フラット35】の金利の引下げ対象になります

当初5年間 年0.5%
購入者の借入金金利引下げ



詳しくはこちら



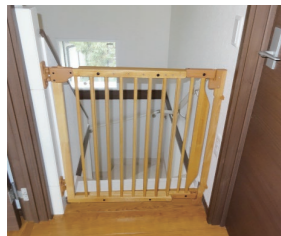
選べる3モデル!

「東京こどもすくすく住宅認定制度」は3つの認定モデルがあり、子育てに配慮された住宅として、事業者の取組内容に応じて、東京都の認定を受けられます。(以下、取組例)

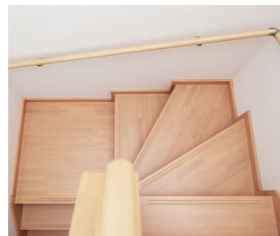
セーフティモデル

子供の安全の確保に特化したモデル

必要項目数 ☆☆☆



階段からの転落防止のためのチャイルドフェンス等の設置



子供や妊婦が下階に転げ落ちる心配のない階段形状



転落防止のための手すり(2階以上の窓等)



子供が進入できない高い位置に浴室錠設置



子供が誤って点火しないようなチャイルドロック付きコンセント



足掛かりのないバルコニー手すり



防犯灯の設置等による防犯上有効な明るさの確保



ダブルロックによる玄関扉の侵入防止対策

セレクトモデル

事業者の特色をいかした設備等の選択が可能なモデル

※以下の工夫が、全て施されている必要があるわけではありません。

必要項目数 ☆☆☆

住宅内を充実する設備(例)



玄関にベビーカーが置けるスペース



料理中でも部屋を見渡せる見通しのよいキッチン



リビングの一角に設置したカウンターコーナー

敷地内を充実する設備(例)



自然との共生や愛着の形成に資するシンボルツリーの植樹



土いじりや水遊びができる庭

アドバンスモデル

設備等の充実に加え、コミュニティ形成などソフト面も重視したモデル

必要項目数 ☆☆☆

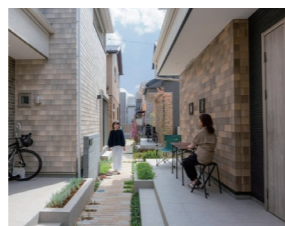
より充実した設備



指挟み防止措置が施された建具(左:ドアクローザー、右:指挟み防止カバー)



コミュニティ形成



入居者同士の交流の場となる共用スペース



入居者を対象としたイベントの開催(庭、植栽のお手入れ座談会の開催)

住宅内の認定基準を満たした設備の設置例(新築の場合)

全モデル必須項目

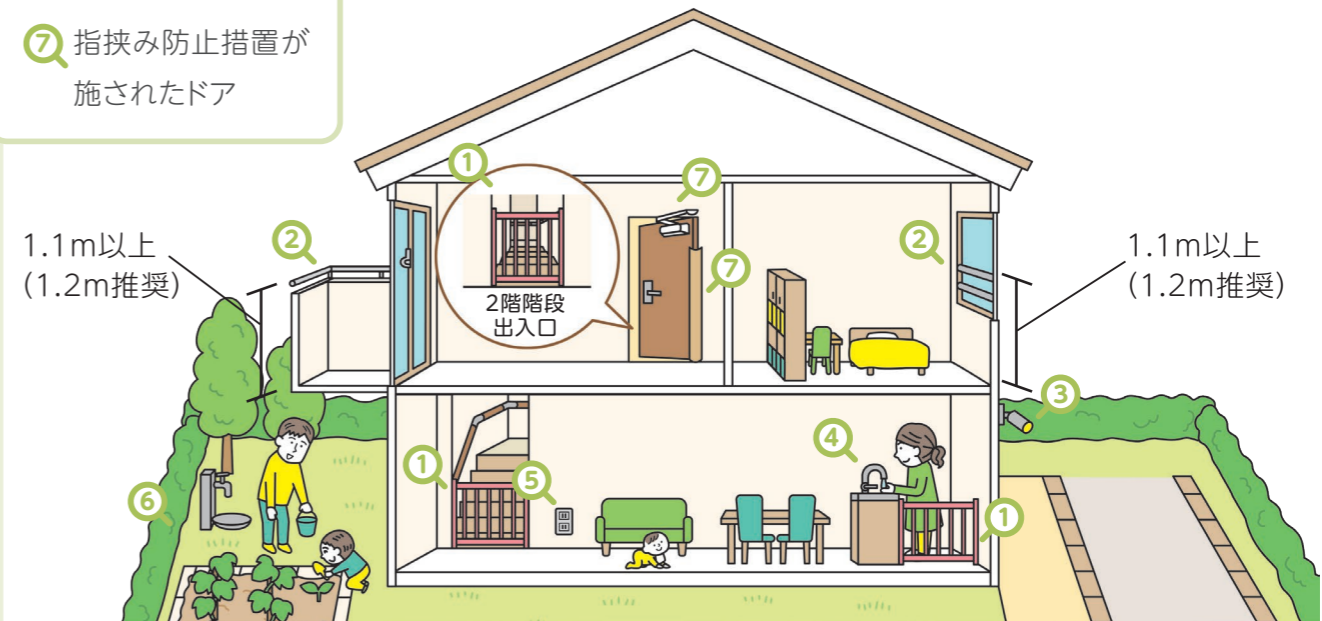
- ① チャイルドフェンスの設置等
- ② 転落防止のための手すりの設置
- ③ 防犯灯の設置等による防犯上有効な明るさの確保

選択項目

- ④ 料理中でも部屋を見通せる見通しのよいキッチン
- ⑤ 感電事故を防ぐ「シャッター付きコンセント」
- ⑥ 土いじりや水遊びができる庭

アドバンスモデルの必須項目

- ⑦ 指挟み防止措置が施されたドア



認定モデルごとの認定基準適合数一覧

認定モデルごとに新築、既存・改修の区分に応じて、必須項目と選択項目を設定し、必要適合数を規定しています。

認定モデル	新築		既存・改修	
	必須項目	選択項目	必須項目	選択項目
アドバンスモデル (100㎡以上)	全て適合 31項目	適合数 30/61 項目	全て適合 17項目	適合数 22/74 項目
セレクトモデル (75㎡以上)	安全基準 適合 14項目	適合数 32/76項目 事業者の特色を いかした基準選択が可能	安全基準 適合 14項目	適合数 15/77項目 事業者の特色を いかした基準選択が可能
セーフティ モデル (75㎡以上)	安全基準 適合 14項目		安全基準 適合 14項目	

※分譲又は賃貸の戸建住宅が認定の対象となります。注文住宅は対象となりません。